

# トビラシステムズ | 4441 東証スタンダード

## 事業特性・業績モメンタムの観点から相对妙味

### サマリー

#### ■ 2026/10期Q2業績：ソリューション事業が全体の成長を牽引

トビラシステムズ（以下、同社）の26/10期Q2業績は、売上高が1,674百万円（前年同期比+22.0%）、営業利益が485百万円（同-7.7%）で着地した。Q1に続きソリューション事業が同+69.0%の680百万円と、全社売上高の成長を牽引した。ソリューション事業では代理店経由でのトビラフォン Biz（以下、Biz）の販売台数が伸長したほか、営業人員の拡充を背景に、トビラフォン Cloud（以下、Cloud）の課金ID数も高成長を遂げた。一方で、営業利益は、来期以降の成長を見据えた先行投資を優先する方針のもと、人員採用の進展に伴い採用費や労務費が増加し、利益を圧迫した。

#### ■ 2026/10期会社計画：利益進捗率は高いが、期初計画は据え置かれた

26/10期会社計画は据え置かれた。通期会社計画に対する進捗率は、売上高が49.7%、営業利益が61.9%と、利益面を中心に高い進捗率となっている。売上高については、同社の売上高の約8割がストック収益で構成されており、下期偏重となりやすい収益構造であることに加え、ソリューション事業も好調に推移していることから、計画超過ペースにあるとSIRは見ている。営業利益については、26/10期下期に、1) 名古屋新オフィスへの移転に伴う一過性費用の発生、2) 採用活動強化の継続に伴う採用費および労務費の増加等が見込まれることから、概ね計画線とSIRは見ている。一方、27/10期については、来期を見据えた採用を中心とした成長投資が進捗していることに加え、上記1)と2)のコスト剥落（125百万円）も見込まれることから、利益成長率が高まる可能性があるとしてSIRは見ている。

#### ■ 株価インサイト：事業特性・業績モメンタムの観点から相对妙味

同社株価は、2026年1月以降のアンソロピック社を起点とするAIブームに伴う株価調整局面においても、比較対象企業の中で堅調に推移しており、26/10期予想PERは23.4倍（6/10終値）と他社平均（17.3倍）を上回っている。この背景には、同社が将来利益の安定性と成長性の双方を兼ね備えている点があると考えられる。同社売上高の約8割はストック収益で構成されており、事業ポートフォリオにおける生成AIの代替リスクも限定的なため、将来利益の予見性は比較的高い。一方、ソリューション事業は前年同期比+69.0%と高成長を継続しているほか、人員採用を中心とした成長投資も進めており、中期的な利益成長余地は大きい。以上から、事業特性・業績モメンタムを踏まえると、同社は相対的に選好されやすいとSIRは考える。

(百万円、%、円)	売上高	YoY	営業利益	YoY	経常利益	YoY	当期利益	YoY	EPS	DPS
FY2023/10	2,061	22.6	682	26.3	679	27.6	517	60.8	49.09	17.00
FY2024/10	2,405	16.7	831	21.8	829	22.1	601	16.2	57.77	20.00
FY2025/10	2,805	16.6	898	8.1	907	9.4	625	4.0	61.59	21.30
FY2026/10会予	<b>3,366</b>	<b>20.0</b>	<b>785</b>	<b>-12.7</b>	<b>796</b>	<b>-12.3</b>	<b>531</b>	<b>-15.1</b>	<b>52.58</b>	<b>20.00</b>
FY2025/10 Q2	1,372	18.9	526	20.2	527	20.6	353	13.2	34.61	0.00
FY2026/10 Q2	1,674	22.0	485	-7.7	499	-5.2	335	-5.1	33.00	0.00

出所：同社IR資料より SIR作成

SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。

## Q2 Follow-up



### 注目点：

高収益性を誇るセキュリティ事業に、トビラフォンCloudの成長が加わることで、B2B2Cモデルから“自走型”成長モデルへ移行する過渡期にある。同社が主体的に成長を設計できるフェーズ入りが見込まれる。

### 主要指標

株価 (6/19)	1,344.0
52週高値 (26/04/22)	1,505.0
52週安値 (25/11/05)	905.0
10年間高値 (19/6/6)	3,746.7
10年間安値 (24/8/5)	599.0
発行済株式数(百万株)	10.70
時価総額 (十億円)	14.37
EV (十億円・LTM)	9.58
株主資本比率 (LTM)	46.0%
25/10 ROE (実績)	24.9%
26/10 PER (会予)	25.6X
PBR (LTM)	5.86X
EV/EBITDA (LTM)	9.16X
26/10 DY (会予)	1.49%

### 株価チャート (1年)



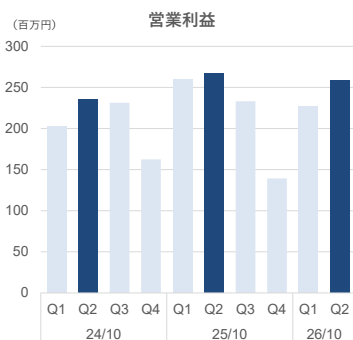
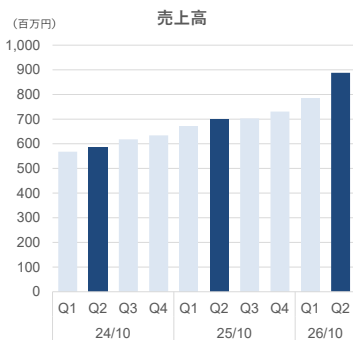
出所：TradingView

## チームカバレッジ

[research@sessapartners.co.jp](mailto:research@sessapartners.co.jp)



## 業績動向



出所：同社IR資料よりSIR作成

### ■ 2026/10期Q2業績は引き続きソリューション事業が成長を牽引

26/10期Q2業績は、売上高が1,674百万円（前年同期比+22.0%）、営業利益が485百万円（同-7.7%）、当期純利益が335百万円（同-5.1%）で着地した。セグメント別売上高は、セキュリティ事業が995百万円（同+2.5%）、ソリューション事業が680百万円（同+69.0%）となり、引き続きソリューション事業が全社の成長を牽引した。

売上高については、セキュリティ事業において固定電話向けサービスが堅調に推移したほか、ソリューション事業においてトビラフォン Bizおよびトビラフォン Cloudの好調が継続したことで大幅な増収となった。ソリューション事業の売上高成長率は、Q1の前年同期比+63.7%からQ2は同+73.9%へ加速している。Q1に続き、代理店経由でのトビラフォン Bizの販売台数が伸長したほか、後述する営業人員の拡充を背景に、トビラフォン Cloudの課金ID数も高成長を遂げた。

営業利益については、来期以降の成長を見据えた先行投資を優先する方針のもと、採用費や労務費の増加が利益を圧迫し、減益での着地となった。一方で、成長投資の成果指標の一つである従業員数は、前期末の114名からQ2末には131名まで増加しており、来期以降に向けた事業基盤の整備は着実に進展している。

### ■ 2026/10期通期業績予想は据え置かれた

同社は26/10期会社計画は据え置かれた。通期会社計画に対する業績進捗率は、売上高が49.7%、営業利益が61.9%、当期純利益が63.2%となり、利益面を中心に高い進捗率となっている。進捗率を踏まえたSIRの見方は以下の通りである。

売上高については、進捗率が49.7%と一見計画線通りに見えるが、同社売上高の8割前後はストック収益で構成されており、新規契約の獲得に伴って毎四半期ストック売上高が積み上がる収益構造となっている。ソリューション事業では、カスタマー対策や中小企業向けのBiz Lite版の投入を背景に、Biz・Cloudの需要は引き続き強い状況にある。こうした状況を踏まえると、ストック収益の積み上がりによって、売上高は計画超過ペースにあるとSIRは見ている。

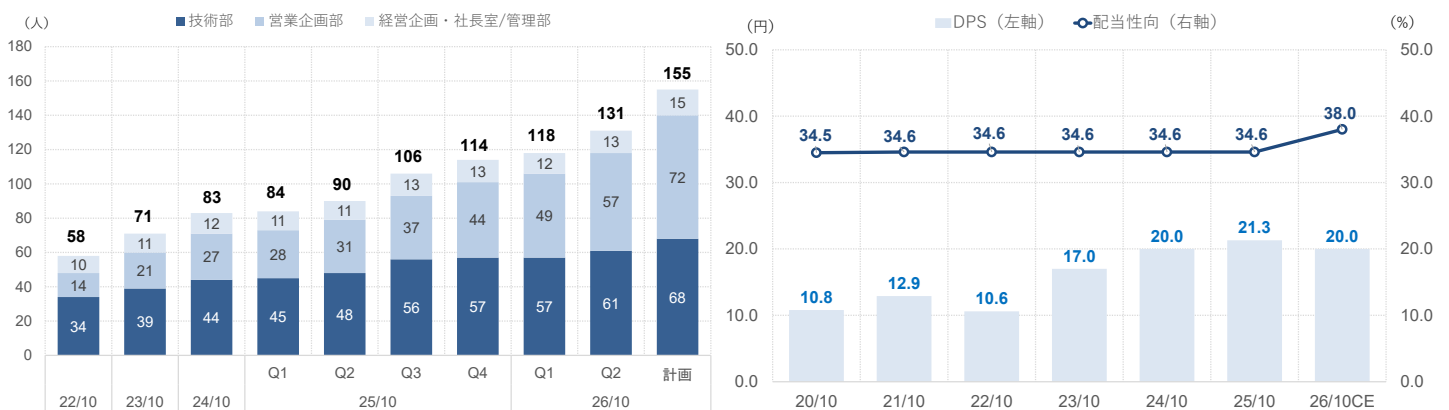
一方、営業利益については、進捗率は高いものの、26/10期下期には、1) 名古屋新オフィスへの移転に伴う一過性費用の発生、2) 採用活動強化の継続に伴う採用費および労務費の増加等が見込まれることから、概ね会社計画線上で推移するとSIRは見ている。ただし、今期は来期以降の成長基盤構築を目的とした先行投資の局面にあり、足元の減益は必ずしもネガティブなものではない。むしろ、採用の進展や組織体制の強化が順調に進んでいることを踏まえると、将来の成長に向けた投資が着実に実行されているポジティブな動向と評価できる。

加えて、27/10期については、オフィス移転関連や26/10期で計上終了となるのれん償却費等の剥落により、125百万円のコスト減少が見込まれる。このため、今期実施している人員採用や営業体制強化の効果が顕在化した場合には、ソリューション事業を中心とした売上成長に加え、利益成長率が高まる可能性があるとしてSIRは見ている。

## 通期・四半期の業績推移および会社計画

項目	24/10	25/10	26/10CE	25/10				26/10	
				Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	2,406	2,805	3,366	673	699	703	731	786	888
前期比	16.7	16.6	20.0	18.5	19.3	13.7	15.2	16.8	27.0
セキュリティ事業	1,844	1,905	1,968	493	476	468	466	492	501
前期比	6.5	3.3	3.3	8.6	5.1	0.4	-0.6	-0.2	5.3
ソリューション事業	562	900	1,397	179	222	234	263	293	386
前期比	70.3	60.1	55.2	58.4	68.2	55.0	60.4	63.7	73.9
構成比	23.4	32.1	41.5	26.6	31.8	33.3	36.0	37.3	43.5
売上原価	700	870	1,122	197	202	222	249	253	300
売上総利益	1,706	1,935	2,244	476	497	481	481	533	588
前期比	19.1	13.4	16.0	17.8	15.0	9.2	12.0	12.0	18.4
売上比	70.9	69.0	66.7	70.7	71.1	68.5	65.9	67.8	66.3
販管費	874	1,036	1,458	217	230	248	342	306	330
営業利益	832	899	785	259	267	233	139	227	259
前期比	21.8	8.1	-12.7	28.0	13.4	0.8	-14.3	-12.5	-3.1
売上比	34.6	32.0	23.3	38.5	38.2	33.2	19.1	28.9	29.1
営業外収益	1	13		1	3	4	6	7	8
営業外費用	3	5		2	1	0	2	0	1
経常利益	830	907	796	258	269	237	143	234	266
前期比	22.1	9.4	-12.3	27.7	14.5	3.0	-11.9	-9.4	-1.1
売上比	34.5	32.3	23.6	38.3	38.5	33.7	19.6	29.7	30.0
特別利益	31	5		0	0	5	0	0	0
特別損失	0	41		0	0	0	41	0	0
税前利益	860	871		258	269	242	102	233	266
法人税等	258	246		85	88	80	-7	77	87
実効税率	30.0	28.2		33.1	32.7	32.9	-7.2	32.8	32.7
当期純利益	602	626	531	173	181	162	110	157	179
前期比	16.2	4.0	-15.1	11.2	15.2	5.9	-19.5	-9.2	-1.2
売上比	25.0	22.3	15.8	25.7	25.9	23.1	15.0	19.9	20.2
従業員数	83	114	155	84	90	106	114	118	131
前期比	16.9	37.3	36.0	-	-	-	37.3	40.5	45.6
増減数 (人)	12	31	41	1	6	16	8	4	13
技術部	44	57	68	45	48	56	57	57	61
営業企画部	27	44	72	28	31	37	44	49	57
コーポレート	12	13	15	11	11	13	13	12	13

## 従業員数の推移 (左図)、DPSおよび配当性向の推移 (右図)



出所：同社IR資料よりSIR作成

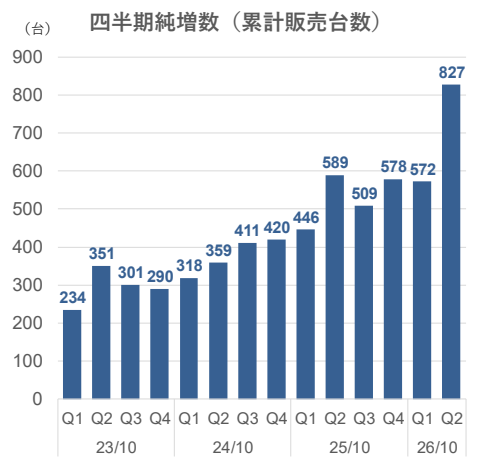
決算補足 | トビラフォン Biz・Cloudの業績詳細

同社は28/10期を最終年度とする中期経営計画において、売上高60億円を目標に掲げ、うちソリューション事業の売上高比率を47%まで拡大させる計画としている。26/10期Q2時点では、ソリューション事業の売上比は43.5% (YoY+11.7pt) と、Biz・Cloudの財務貢献が急速に高まっており、中計前倒しペースで進捗しているとSIRは見ている。高成長を続けるソリューション事業の売上比率の上昇は、全体売上高の成長率が高まる事業ポートフォリオ転換に繋がるため、好印象である。

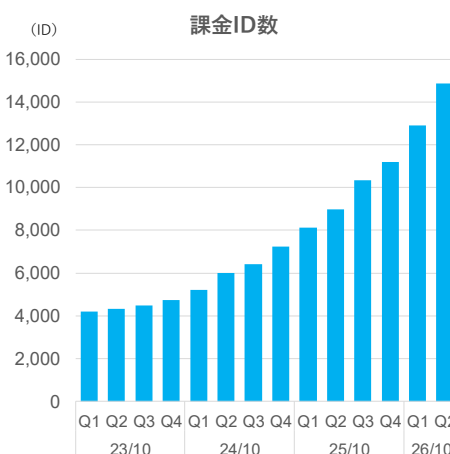
ソリューション事業の業績推移

項目	単位	24/10				25/10				26/10	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	百万円	113	132	151	164	179	222	234	263	293	386
前期比	%	73.8	57.1	73.6	76.3	58.4	68.2	55.0	60.4	63.7	73.9
売上比	%	19.9	22.5	24.4	25.9	26.6	31.8	33.3	36.0	37.3	43.5
トビラフォン Biz	百万円	88	101	116	124	134	165	165	185	200	264
前期比	%	76.0	50.7	70.6	74.6	52.3	63.4	42.2	49.2	49.3	60.0
売上比	%	15.5	17.2	18.8	19.6	19.9	23.6	23.5	25.3	25.4	29.7
トビラフォン Cloud	百万円	24	30	35	40	45	57	69	78	92	121
前期比	%	71.4	76.5	94.4	81.8	87.5	90.0	97.1	95.0	104.4	112.3
売上比	%	4.2	5.1	5.7	6.3	6.7	8.2	9.8	10.7	11.7	13.6

トビラフォン Bizの詳細



トビラフォン Cloudの詳細



出所: 同社IR資料よりSIR作成

## 注目点

### アンソロピック・ショック下で、株価はディフェンシブ性を発揮

ITセクターでは、2026年1月のアンソロピック社を起点とするAIブームを受け、生成AIによる業務代替リスクへの懸念が高まったことで、セクター全体で株価調整が進んだ。この影響を受け、SIRが選定した比較企業の2025年10月末からの株価パフォーマンスを見ると、比較企業の全てが下落した一方、同社株価は+32.3%と唯一プラスのリターンを記録した。

この背景には、同社事業の高いディフェンシブ性があるとSIRは考えている。セキュリティ事業については、生成AIの普及に伴うフィッシング詐欺やなりすまし被害の高度化を背景に、中長期的な需要拡大が期待される領域である。また、ソリューション事業についても、電話業務の効率化やカスハラ対策ニーズの高まりを背景に、クラウドPBX市場の成長が見込まれており、生成AIによる代替リスクは限定的である。

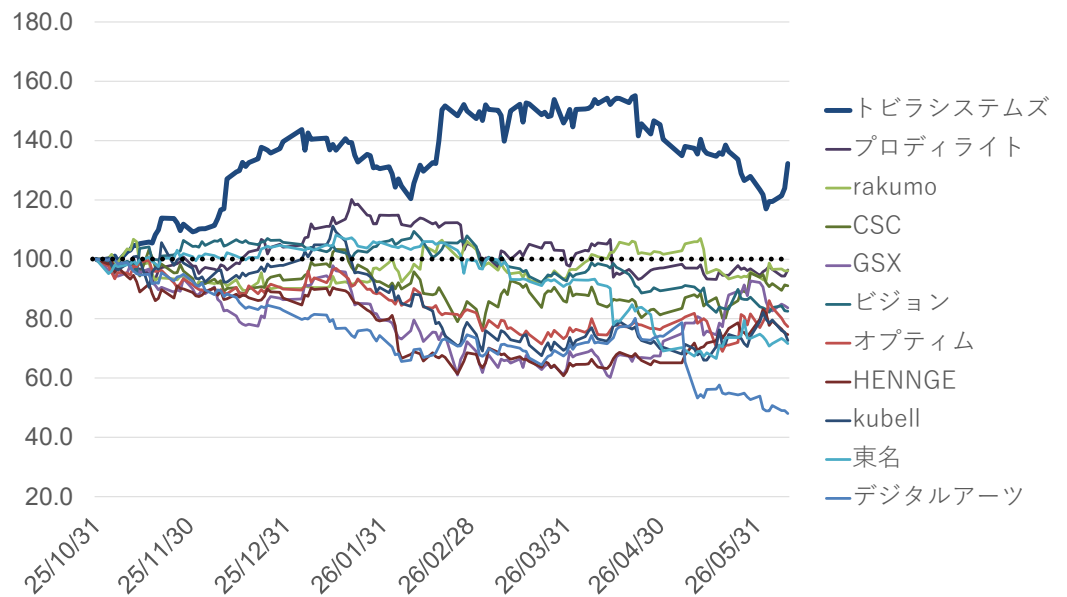
加えて、業績モメンタムの観点からも同社は相対的に良好な状況にある。比較企業の業績をカレンダーイヤーベースで整理した推移を見ると、足元で増収率が加速している企業は、同社、東名、HENNGEの3社に限られる。上記のとおり、同社はディフェンシブ性の高い事業特性と良好な業績モメンタムを兼ね備えている点が、足元の株価パフォーマンスに繋がっているとSIRは見ている。

### 各社の売上高・営業利益の前年同期比推移（単位：％）

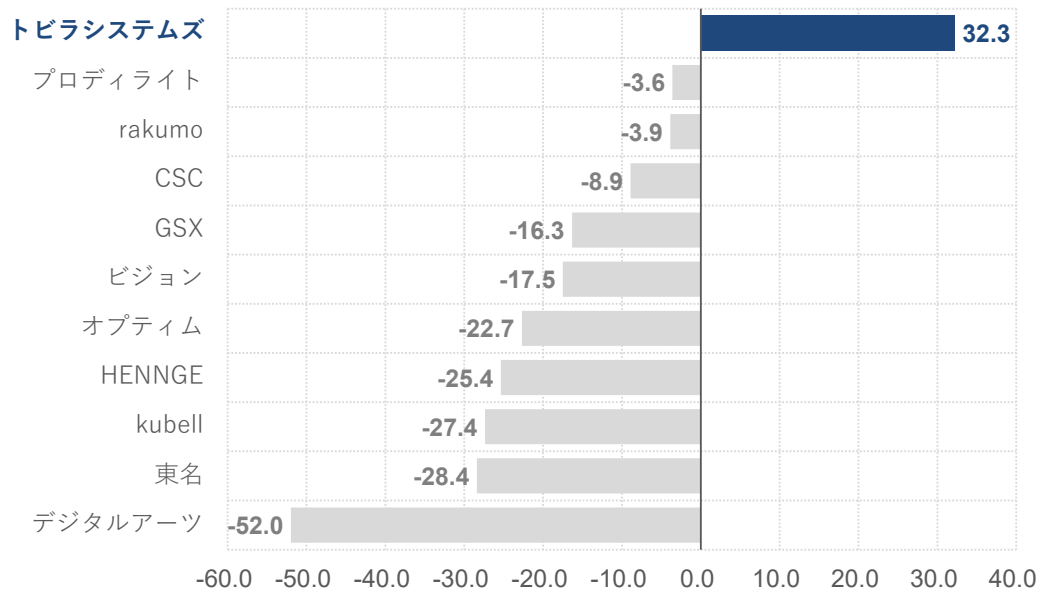
コード	企業名	CY2024				CY2025				CY2026	会社計画
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
<b>売上高</b>											
4441	トビラシステムズ	12.3	18.8	19.3	18.5	19.3	13.7	15.2	16.8	27.0	20.0
2326	デジタルアーツ	14.8	-12.1	-13.8	-11.7	-15.1	1.6	4.5	16.7	10.8	10.8
3694	オプティム	8.0	-1.6	7.0	-13.3	17.5	6.4	12.9	40.1	-6.2	10.6
4060	rakumo	18.1	15.5	1.9	11.8	13.8	16.3	41.6	34.2	35.5	27.3
4417	GSX	28.4	24.8	24.9	25.2	27.5	23.4	24.1	24.8	27.9	25.0
4439	東名	6.7	21.3	31.6	28.8	33.9	15.1	11.4	3.8	2.0	19.7
4448	kubell	36.0	37.2	29.6	22.2	15.5	11.5	10.4	12.9	15.8	13.0
4475	HENNGE	20.1	24.4	25.3	31.1	36.1	29.8	26.2	20.1	15.5	17.5
4493	CSC	32.5	20.9	25.3	25.7	24.4	38.5	36.7	28.4	17.5	18.0
5580	プロディライト	-	-	15.0	15.6	36.3	30.7	32.9	26.8	5.7	18.5
9416	ビジョン	2.8	16.0	9.1	19.9	7.6	12.0	12.5	7.2	0.8	7.7
<b>各社合計</b>		<b>13.3</b>	<b>17.7</b>	<b>15.0</b>	<b>16.4</b>	<b>16.6</b>	<b>14.9</b>	<b>14.9</b>	<b>14.1</b>	<b>6.9</b>	<b>14.5</b>
<b>営業利益</b>											
4441	トビラシステムズ	34.4	41.0	0.7	28.0	13.4	0.8	-14.3	-12.5	-3.1	-12.7
2326	デジタルアーツ	10.1	-3.9	-7.8	17.0	8.3	-5.1	1.0	20.9	2.5	12.7
3694	オプティム	-35.3	-19.3	20.4	-46.4	39.4	7.1	18.9	39.7	-26.1	0.5
4060	rakumo	26.1	6.8	10.1	67.5	21.9	41.5	-2.2	-5.7	10.1	28.5
4417	GSX	50.3	44.6	26.6	41.9	74.0	26.4	41.2	34.7	47.6	31.3
4439	東名	90.4	35.9	66.5	89.9	83.6	-2.5	22.8	-5.3	-4.6	11.2
4448	kubell	-	-	-	-	-	72.8	-19.0	-	268.3	-
4475	HENNGE	50.9	-7.2	-34.5	37.3	124.2	71.7	117.8	0.2	25.0	14.7
4493	CSC	94.2	22.7	26.1	-5.5	-23.6	35.4	77.2	237.5	50.6	8.8
5580	プロディライト	-	-	1128.6	-60.4	44.0	5.5	-18.0	202.4	-	42.2
9416	ビジョン	10.2	14.5	23.9	85.9	-1.5	17.1	15.6	63.9	-0.3	16.0
<b>各社合計</b>		<b>17.0</b>	<b>23.4</b>	<b>28.1</b>	<b>29.2</b>	<b>26.5</b>	<b>14.1</b>	<b>17.3</b>	<b>34.9</b>	<b>6.0</b>	<b>11.4</b>

出所：各社IR資料よりSIR作成

比較企業の株価パフォーマンス（2025年10月末=100）



個別銘柄の株価騰落率（2025年10月末～2026年6月10日終値）



出所：SPEEDAよりSIR作成

## 株価インサイト

### ITセクター内では同社の事業特性と成長性から相对妙味

ITセクターでは、2026年1月にアンソロピック社を起点とするAIブームを背景に、生成AIによる業務代替リスクへの懸念から株価調整が進んだ。一方で、同社の株価はこうした環境下においても一時1,400円台をつけるなど堅調に推移した。実際、26/10期の予想PERは23.4倍（6/10終値）と比較企業平均の17.3倍を上回っており、市場は引き続き同社に対してプレミアム評価を付与している状況にある。

SIRでは、同社が比較企業平均を上回るPERで評価されている背景として、将来利益の安定性と成長性の双方を兼ね備えている点があると考え。同社売上高の約8割はストック収益で構成されており、生成AIによる業務代替リスクも限定的であることから、将来利益の予見性は比較的高い。一方で、ソリューション事業は前年同期比+69.0%と高成長を継続しているほか、人員採用を中心とした成長投資も進めており、中長期的な利益成長余地は大きい。すなわち、同社は「高い利益成長期待」と「高い利益安定性」を兼ね備えていることから、比較企業平均を上回るPERで評価されているとSIRは考える。

今後の株価を見るうえでは、成長投資の進捗とソリューション事業の成長確度が重要なポイントとなろう。足元では、来期以降の成長に向けて営業人員を中心とした採用を進めているが、これらの人員が戦力化した状態で来期を迎えた場合には、ソリューション事業の成長率向上を通じて全社業績の拡大に繋がる可能性がある。加えて、27/10期はオフィス移転関連費用やのれん償却費等の一過性コスト（125百万円）の剥落が見込まれているため、成長投資が奏功した場合には、オーガニック成長率の向上と利益率改善が同時に進む可能性がある。

### トブラシステムズの過去1年間の株価チャート



### セキュリティ・サブスクリプション関連銘柄のバリュエーション

コード	企業名	決算月	株価 (6/10) 円	発行済 株式数 百万株	時価総額 (6/10) 百万円	PER			EPS成長率			営業利益率		
						FY24 倍	FY25 倍	FY26E 倍	FY24 %	FY25 %	FY26E %	FY24 %	FY25 %	FY26E %
4441	トビラシステムズ	10月	1,230	10.6	13,092	12.8	15.1	23.4	17.7	6.6	-14.6	34.6	32.0	23.3
	各社平均					25.6	20.0	17.3	24.0	22.8	13.6	19.1	19.5	20.0
2326	デジタルアーツ	3月	3,625	14.1	51,232	28.7	20.3	12.9	-26.2	8.9	10.6	45.7	44.2	45.0
3694	オプティム	3月	433	54.6	23,641	30.4	20.5	-	0.5	-5.3	-	18.5	16.8	15.3
4060	rakumo	12月	1,068	5.8	6,226	19.1	21.4	19.6	28.3	7.0	16.5	26.5	23.4	23.6
4417	GSX	3月	3,100	15.3	47,460	36.7	23.7	23.4	28.3	47.0	34.3	18.4	20.3	21.3
4439	東名	8月	741	30.0	22,220	16.6	11.6	8.6	33.8	56.0	6.0	9.7	11.3	10.5
4448	kubell	12月	284	42.3	12,002	-	74.5	-	-	-	-	1.1	5.1	-
4475	HENNGE	9月	1,095	32.5	35,588	45.3	38.0	21.9	63.0	65.2	18.1	12.1	16.4	16.0
4493	CSC	12月	1,757	10.4	18,256	35.0	21.9	20.8	37.7	31.2	3.1	20.0	21.7	20.0
5580	プロディライト	8月	1,468	1.7	2,470	14.2	13.5	15.2	44.9	-21.4	35.8	8.7	6.3	7.6
9416	ビジョン	12月	1,009	50.9	51,397	17.7	14.0	9.7	12.5	32.4	12.5	15.1	16.6	17.9

コード	企業名	決算月	PBR			ROE			自己資本比率			ネットキャッシュ比率		
			FY23 倍	FY24 倍	FY25 倍	FY23 %	FY24 %	FY25 %	FY23 %	FY24 %	FY25 %	FY23 %	FY24 %	FY25 %
4441	トビラシステムズ	10月	4.06	3.15	3.62	26.9	26.3	24.8	58.6	56.0	48.2	59.2	69.3	66.7
	各社平均		7.82	6.77	4.95	23.7	24.0	22.5	55.6	55.1	54.8	42.6	47.2	43.8
2326	デジタルアーツ	3月	3.77	5.24	3.76	29.1	19.1	19.2	71.0	76.6	66.1	81.4	79.3	82.8
3694	オプティム	3月	7.87	4.25	2.44	17.6	15.0	12.6	75.8	76.0	74.7	16.6	15.6	14.1
4060	rakumo	12月	5.68	2.98	3.13	15.6	16.9	15.6	50.9	53.6	44.8	70.4	75.3	26.4
4417	GSX	3月	17.30	10.49	8.00	37.7	32.8	39.8	37.2	37.8	44.2	-7.9	-1.8	3.4
4439	東名	8月	2.90	3.38	2.90	20.5	22.5	27.9	53.5	53.9	58.9	20.9	36.1	40.2
4448	kubell	12月	10.54	14.15	8.05	-	-	12.0	38.6	26.1	29.9	11.6	28.6	37.8
4475	HENNGE	9月	14.93	12.74	13.64	22.7	31.1	40.6	38.0	35.4	35.0	72.8	76.4	68.1
4493	CSC	12月	9.00	12.05	4.17	23.8	34.5	18.6	64.6	55.3	75.6	56.5	42.6	63.6
5580	プロディライト	8月	5.23	2.62	1.70	19.7	20.4	12.5	56.2	66.4	55.7	42.1	53.4	40.6
9416	ビジョン	12月	4.71	3.43	3.05	22.9	21.2	23.6	67.3	69.1	69.2	44.5	44.7	38.5

コード	企業名	決算月	配当性向			配当利回り			総還元性向			DOE		
			FY24 %	FY25 %	FY26E %	FY24 %	FY25 %	FY26E %	FY23 %	FY24 %	FY25 %	FY23 %	FY24 %	FY25 %
4441	トビラシステムズ	10月	34.6	34.6	38.0	2.71	2.29	1.63	34.6	65.8	81.1	8.38	8.53	8.29
	各社平均		16.8	19.1	19.8	0.81	1.09	1.34	18.7	42.4	34.8	2.28	3.88	4.57
2326	デジタルアーツ	3月	36.5	37.5	35.7	1.27	1.84	2.76	57.9	59.8	70.5	6.91	6.68	6.95
3694	オプティム	3月	0.0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	25.3	0.00	0.00	0.00
4060	rakumo	12月	13.7	19.3	25.6	0.72	0.90	1.31	0.0	13.4	19.1	0.00	2.09	2.78
4417	GSX	3月	31.0	35.0	37.0	0.85	1.48	1.58	25.4	59.1	35.3	8.18	10.24	11.93
4439	東名	8月	13.4	11.7	12.8	0.81	1.00	1.48	8.3	13.4	11.7	1.56	2.72	2.91
4448	kubell	12月	0.0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.0	-	0.0	0.00	0.00	0.00
4475	HENNGE	9月	11.7	11.8	12.0	0.26	0.31	0.55	53.1	29.9	46.3	0.00	3.27	4.23
4493	CSC	12月	4.8	6.2	7.1	0.14	0.28	0.34	0.0	143.8	6.2	0.00	1.62	1.16
5580	プロディライト	8月	0.0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.00
9416	ビジョン	12月	38.7	54.3	50.0	2.20	3.87	5.05	25.9	39.0	87.2	0.00	7.53	11.99

出所：各社IR資料よりSIR作成

注1：FY26の数値は会社計画ベースの数値、セクター平均P/Eの算出はP/Eゼロ未満および100倍以上のデータを除外して算出。

注2：総還元性向の自社株買いは財務CFの数値を使用、ネットキャッシュ比率は総資産に対するネットキャッシュの割合を示す。

## ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



**SESSAパートナーズ株式会社**

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a  
[info@sessapartners.co.jp](mailto:info@sessapartners.co.jp)